



発刊：バリアフリー推進ネットワーク事務局（交通エコモ財団）

---

目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
  - 交通バリアフリー推進の集い報告について
  - 交通バリアフリー推進の集い交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について
  
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
  - バリアフリーセミナー 身体障害者補助犬受け入れの留意点について
  - 荒川区基本構想点訳版（あふネット）
  
- (3) エコモからのお知らせ
  - らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ
  - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
  - 公共交通機関旅客施設の移動円滑化ガイドライン追補版が発刊
  
- (4) 行政からのお知らせ
  - 交通バリアフリー法基本構想策定状況
  
- (5) 各種催し物のお知らせ
  - 第13回シルバーサービス展      ビジョン、見えていますか？
  
- (6) その他
  - 書籍に関して
  - 記事募集中
  - お願い（必ずお読みください。）
    - ・転送先について
    - ・送付先について

**コラム**

---

## (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

### 交通バリアフリー推進の集い報告について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いについて、当日実施しましたアンケート結果や、パネルディスカッションの概要をまとめました。ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/>

### 交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いを実施いたしました。当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

## (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

### バリアフリーセミナー身体障害者補助犬受け入れの留意点について

平成14年10月1日の「身体障害者補助犬法」の施行により、官公庁の建物や公共交通機関はもとより、ホテルや飲食店等の不特定かつ多数の者が利用する施設も身体障害者補助犬の受け入れが義務付けられました。(ただし、ホテルや飲食店等の不特定かつ多数の者が利用する施設の受け入れ義務は平成15年10月1日から)しかし、受け入れ側の留意点についての情報は少なく、対応に困惑している事業者が見受けられます。このため、身体障害者補助犬同伴者へのスムーズな対応を図ることができるよう、対応方法を中心としたバリアフリーセミナーを開催いたします。

主催：さいたま新都心まちづくり推進協議会、後援：埼玉県 / さいたま市 / 都市基盤整備公団

身体障害者補助犬 = 盲導犬、聴導犬、介助犬

日時：平成15年3月24日(月)14:00~17:00

会場：ラフレさいたま 4階 檜 〒330-0835 埼玉県さいたま市北袋町1-21-3(さいたま新都心地区内)

TEL048-601-1111(代表) ホームページ <http://www.raffre.co.jp/>

講師：コーディネーター 高橋儀平 東洋大学工学部助教授

パネラー 高柳友子 日本介助犬アカデミー専務理事、東京医科歯科大学非常勤講師

パネラー 高田かおり (株)ダイエー総務室消費者サービス部エコ・ハート課

パネラー 早川美奈子 特定非営利法人ぴあ・ぱれっと副代表、自立生活センターくればす副代表、盲導犬ユーザー

入場無料、定員100名。当日、手話通訳がつかます。

お申し込み方法： 件名：バリアフリーセミナー申込、氏名(ふりがな)、勤務先又は学校名等、連絡先電話番号を明記し、下記事務局宛て、官製葉書、FAXもしくはe-mailにてお申し込み下さい。また、あらかじめご意見・ご質問があればお書き添え願います。

申し込みの締め切りは3月19日(水)です。なお申込者多数のため調整させていただく場合のみご連絡いたします。

お申込・お問合せ先：さいたま新都心まちづくり推進協議会事務局

〒336-8501 埼玉県さいたま市高砂3-15-1

埼玉県県土整備部 新都心管理課 都市管理担当内

TEL 048-830-5661 FAX 048-822-9417 e-mail [a0148943@pref.saitama.jp](mailto:a0148943@pref.saitama.jp)

### 荒川区基本構想点訳版、音訳版(あふネット)

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX : 03-3221-6674 E-mail : [ecomomail@ecomomail.com](mailto:ecomomail@ecomomail.com)

## (3) エコモからのお知らせ

### らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ

沢山の方にご利用頂いているらくらくおでかけネット(交通バリアフリー情報提供システム)のアドレ

スが新しくなっております。

アドレス：(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版 = EZ-web) [http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile\\_ez/](http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/)

#### 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時(地域の基本構想作成時などが考えられます)にお役立ていただく方法として、提供させていただいておりますので、ご自由にお使いいただければと思います。なお、鉄道事業者等との対応に際しましては、エコモから依頼しているものではありませんので、誤解のないよう、よろしくお願いたします。

#### 公共交通機関旅客施設の移動円滑化ガイドライン追補版が発刊

平成 12 年 11 月 15 日、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(交通バリアフリー法)」及び同法に基づく移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準が定められた。この移動円滑化基準が義務基準として遵守すべき内容を示したものであるのに対し、多様な利用者の多彩なニーズに応え、すべての利用者がより円滑に利用できるよう、公共交通機関の旅客施設整備の望ましい内容を示すものとして「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」が平成 13 年 8 月策定されました。

しかし、本整備ガイドライン作成のための検討の中で、いくつかの課題が残されることとなり、視覚障害者の移動支援方策、視覚障害者誘導用ブロックの個別箇所の敷設方法などが視覚障害者の移動支援設備については、なお議論や検討が必要であるため本整備ガイドラインに盛り込むことができませんでした。

そこでこれらについては、本整備ガイドラインの策定後、検討を進め、このたび視覚障害者に対しニーズ調査、検知・検証実験を踏まえ、音による案内の具体的な検討を行い、個別の音案内ガイドライン、鉄軌道駅プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック及びプラットホームの柱や構造物が干渉する場合の敷設について、検討結果がまとまりましたので、「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン追補版(平成 14 年 12 月)」として発行することとなりました。

お申し込みは当財団ホームページから直接お申し込みください。FAX03-3221-6674(1冊 1,000 円税込み、送料別)

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/guidetuihoban.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/guidetuihoban.html)

#### (4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

基本構想を作成済みの市区町村 58 市区町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新発田市、愛知県春日井市、静岡県焼津市、大阪府柏原市、大阪府大阪狭山市、大阪府茨木市、新潟県長岡市、愛知県名古屋市の、大阪府藤井寺市、北海道遠野町、東京都千代田区

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

#### (5) 各種催し物のお知らせ

第 13 回シルバーサービス展 ビジョン、見えていますか?

介護から趣味・生活にいたるまでのシニア世代の広いニーズに対応するため、会場を「安・健・活・学」

をキーワードにして、わかりやすく展開した総合展示会。高齢者の生活全般を支えるさまざまな商品やサービスを一堂に展示。また、福祉用具・住宅、資産運用、健康など、安心でより豊かなシニアライフを過ごすための情報提供をステージや相談コーナーといったイベントでも実施。

日 時 3月13日(木)~15日(土) 10:00~17:00

会 場 池袋サンシャインシティ ワールドインポートマート/文化会館 A・B・C・Dホール

併 催 シルバーサービスシンポジウム

問合せ シルバーサービス展事務局 TEL03-5551-7885 ホームページ <http://www.espa.or.jp/>

## 第2回交通バリアフリーシンポジウムを開催

(社)交通バリアフリー協議会の主催で、「第2回交通バリアフリーシンポジウム」を開催します。交通バリアフリー関連の機器や歩行者誘導システム等の技術発表から、交通バリアフリー基本構想の事例報告まで、各企業や地方自治体の考え方を含めて発表して頂きます。なお、鎌倉市様と中部国際空港(株)様を招待論文としてお招きし、ご講演を頂く予定です。

4月17日(木)までに同協議会までに、下記の参加票へ必要事項を記入の上、メール又はFAX用紙にてお申し込みください。詳しい内容や申し込み方法は、当協議会ホームページをご覧ください。

なお、申し込まれた方は、当日名刺をお持ちください。

開催日時：平成15年4月24日(木) 10:10~16:40(受付開始 9:45~)

開催場所：きゅりあん(品川区立総合区民会館) 小ホール

東京都品川区東大井5-18-1 TEL03-5479-4100

交 通：JR京浜東北線、東急大井町線、りんかい線大井町駅前

参加費：無料(論文資料代1,000円)

後 援：国土交通省(予定)

### 発表スケジュール

10:10 開会挨拶 (社)交通バリアフリー協議会 理事長

来賓挨拶 国土交通省 総合政策局交通消費者行政課

#### 【招待論文1】

10:20 鎌倉市移動円滑化基本構想の策定 鎌倉市

第1セッション：基本構想と情報提供システム

11:00 広島県三原市交通バリアフリー基本構想 (株)間瀬コンサルタント

11:20 情報バリアフリーのコンセプトに基づく情報提供端末の展開 高山市

11:40 鉄道車両内映像提供システムにおける情報バリアフリー 三菱電機(株)

12:00 昼休み(1時間)

#### 【招待論文2】

13:00 中部国際空港のバリアフリーについて 中部国際空港(株)

第2セッション：エレベーター・エスカレーターと誘導ブロック

13:40 エレベーター操作盤のユニバーサルデザイン 三菱電機(株)

14:00 施工者から見た鉄道駅バリアフリー工事 東急建設(株)

14:20 視覚障害者誘導ブロックに関する性能評価 (株)キクテック

14:40 休憩(20分)

第3セッション：歩行者支援と音による誘導案内

15:00 ネットワーク誘導案内システムの応用と展望 富士電機(株)

15:20 ICタグ内蔵視覚障害者誘導用ブロックを用いた歩行者ITS (株)日立製作所

15:40 視覚障害者用情報案内システムの鉄道駅への応用 三菱プレジジョン(株)

16:00 神戸市営地下鉄海岸線の音環境デザイン計画 TOA(株)

16:20 閉会挨拶

発表スケジュールは、都合により変更になることもありますので予めご了承ください。

下記の事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。(〆切り4/17)

Eメール [b-tbfc@jtbfc.gr.jp](mailto:b-tbfc@jtbfc.gr.jp)

第2回交通バリアフリーシンポジウム参加票

- 1.会社、団体名、2.所属部署、3.氏名(複数可)、4.住所 〒、5.電話、6.FAX、7.E-Mail
- 8.会場の都合により車椅子でのご来場の方は、人数をお教えてください。

なお、会場の都合により定員を超えた場合は、お断りする場合があります。その際は、申し込まれた方へ事務局よりご連絡いたします。予めご了承ください。

お問い合わせ先 社団法人 交通バリアフリー協議会 事務局 日田、鈴木、五十嵐  
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-8-11 第11 赤坂葵ビル 802  
TEL : 03-3584-5032 FAX : 03-3584-0577 Eメール : b-tbfc@jtbfc.gr.jp  
ホームページ <http://www.jtbfc.gr.jp>

## (6) その他

### 書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html)

### 記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、エッセイ等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

エッセイに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail : [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp) FAX : 03-3221-6674

### お願い(必ずお読みください。)

#### ・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp) FAX : 03-3221-6674

#### ・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp) FAX : 03-3221-6674

## コラム

ようやく、春めいてきました。桜の開花もそろそろですね。

4月になると新入社員の紺のスーツが私たちの気持ちをリフレッシュさせてくれます。大きな期待と夢を持って社会に入ってきますので、随分前に、社会に入った「いわゆる先輩」としては、仕事しやすい環境づくりにつとめなければなりません。わがエコモは新入社員はいませんが、4月には異動があります。

これまで一生懸命にバリアフリーに頑張られた高田実理事が異動します。高田理事は特に公共交通機関とまちづくりという観点から基本構想づくりの推進につとめてきました。残念ですが、これからもいろいろなところで活躍して頂きたいと思っております。

先般、朝日新聞でアクセスの今福さんが指摘していた「トータルなバリアフリーは誰が考えるのか」という記事を拝見しました。確かに重要な問題です。バリアフリーの設備を設置するのは健常者で、マニュアル等を見てつくられるみたいですが、障害のある方にとってはまだまだ不便なところも見られるようです。これから整備する人は自分で車いすに乗って、障害のある方の目線で、整備されるようお願いしたいですね。(整備にあたって障害のある方の意見を聞いているところはすいません。)

エコモの1年間は、知的でエキサイティングな楽しいことばかりでした。その多くをバリアフリー推進ネットワークの皆様との協働の中で教えて頂いたと感謝いたしております。

私は、やむを得ない事情により異動いたしますが、今後ともエコモの応援団として働いていく所存です。ネットワークの皆様におかれましても引き続きエコモにご支援を頂きますようお願いいたします。(高田)